

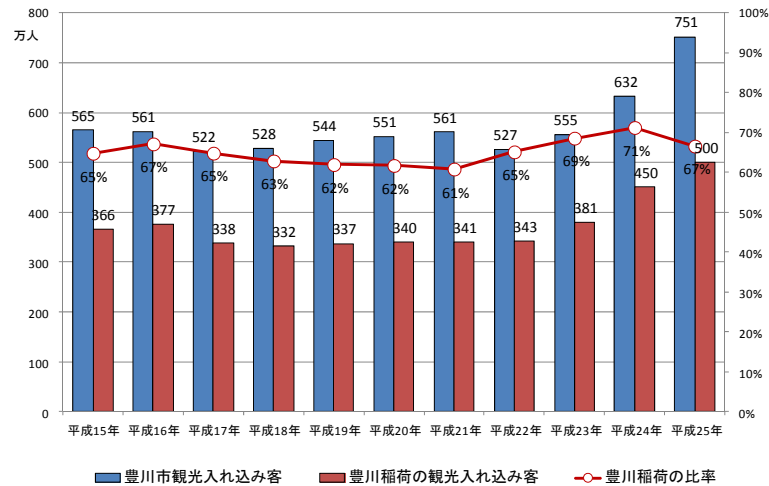
平成26年度 豊川市シティセールス推進事業支援業務 実施概要 (豊川商工会議所 委託事業)

1. 業務の目的

B1グランプリin豊川によって向上した豊川の認知度、イメージ並びに来訪者へのおもてなしの心をもとに、継続してシティセールスを行い、地域活性化に結び付けるために、シティセールス事業推進の検討委員会での議論を通じて、豊川市の現況分析と課題整理を行うとともに、今後のシティセールス事業の構想企画を取りまとめた。

2. 業務の概要

- ①過去の検討報告書や各種統計データ等を活用して同市の社会・経済動向等を整理し、現況を分析した。
- ②豊川市の地域特性(成長分野、期待分野等)を把握し、シティセールスに対する課題を整理した。
- ③豊川市のシティセールス推進事業検討委員会での討議を踏まえ、豊川市シティセールスの構想企画を検討した。



■豊川市の観光入れ込み客数の推移

豊川市内の主要観光施設、イベント等への入れ込み客数は、平成17年に522万人まで減少したが、その後は平成21年までは増加傾向が続いた。平成22年には再び520万人台まで減少するものの、平成23年、平成24年は増加傾向にある。



■シティセールスのイメージ 「豊川市シティセールス戦略プラン」より

豊川市は、市の魅力を地域内外へアピールし、市の愛着と誇りを高めるとともに、地域の活性化と持続的な発展を図るため、平成24年8月に「豊川市シティセールス戦略プラン」を策定した。

この戦略プランをもとに、平成25年3月には「豊川市シティセールス戦略プランアクションプラン」が策定され、市民、企業、NPO、行政等が連携して進めるシティセールスの具体的な取り組みが進められている。

シティセールス戦略プラン策定による取り組みをきっかけとして、その効果を創出していくことが期待されている。